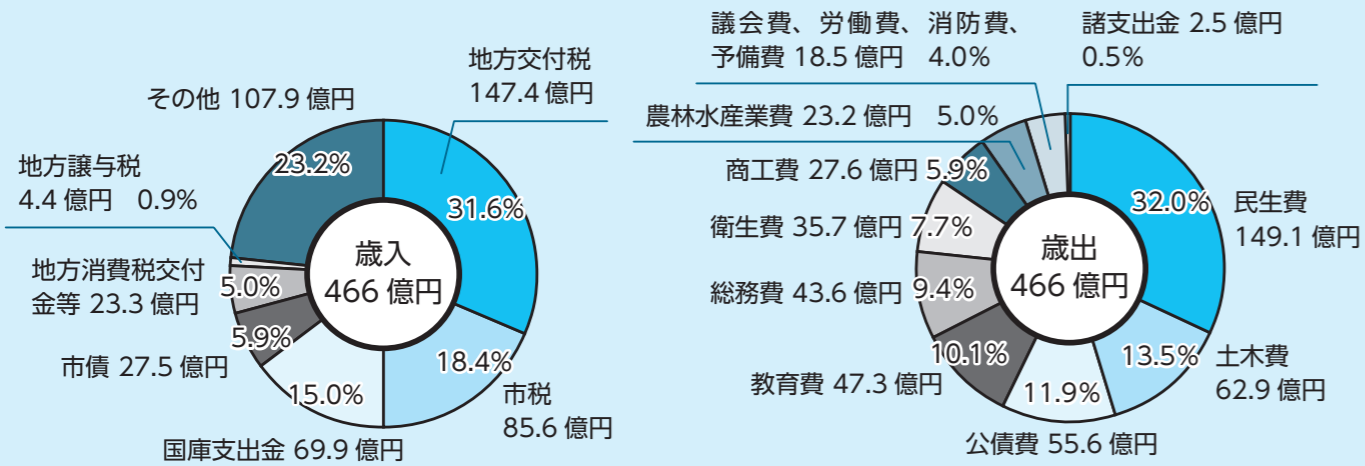


一般会計予算の概要



歳入	歳出		
地方交付税 国(国税など)からの 交付金	民生費 児童・高齢者・障がい 者福祉、生活保護など	教育費 小・中学校教育、 生涯学習など	商工費 商工業の発展、 観光の振興など
市税 市民税、固定資産税 など	土木費 道路・公園・市営住宅 の整備、除排雪など	総務費 住民票の発行など の一般的な事務	農林水産業費 農業・林業・畜 産の振興など
国庫支出金 使い道を特定された 国からの補助金など	公債費 借入金の元金と利子 の返済	衛生費 ごみ処理、健康 診断など	議会費、労働費、消防費、 予備費 議会運営、消防負担金など
市債 長期的な借入金			

令和5年度 市政方針と予算

予算総額 890 億 5,300 万円
 一般会計 466 億円
 特別会計 204 億 6,300 万円
 企業会計 219 億 9,000 万円

まちの未来に向けて

2月27日から市議会第1回定例会が開かれ、松野市長が令和5年度の市政運営の基本姿勢となる市政方針を示しました。その市政方針と総合計画に掲げた6つの重点分野を紹介します。問合先 企画室 ☎ 35-4834

令和5年度予算 重点分野の取り組み

- 防災・防犯・地域コミュニティ
地域で支え合う 安全・安心なまち
- 健康・福祉・医療
みんなが健康で元気に暮らせるまち
- 産業経済・交流
活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち

- 子ども・子育て・教育・文化
豊かな心と生きる力をはぐくむまち
- 都市基盤・環境
自然と調和した 快適で暮らしやすいまち
- 市民参画・行財政運営
市民とともに創る 持続可能で自立したまち



市民生活の質の向上 地域経済の活性化
人と緑とまちがつながり ともに育み未来をつくる 健康経営都市

持続可能なまちづくり

昨年の全国の出生数は、7年連続で過去最少を更新するなど、予想を超える速度で少子化が進行しています。岩見沢市でも昨年の出生数は287人と、10年前の約半数にとどまり、高齢化の進行と相まって人口減少の加速化、深刻な担い手不足など、近い将来の懸念が生じています。地域社会への影響を最小限に食い止めるため、早急かつ集中的な対策を講じるとともに、若い世代が結婚・出産・子育てに希望を持ち、実現できる地域社会の構築を急ぐ必要があります。また、私たちの暮らしは北海道の冷涼な気候やエネルギーとの密接な関わりの上に成り立っており、地球温暖化、脱炭素という人類共通の課題の解決に向けて、ともに歩みを進めて行くことが求められています。人と緑とまちがつながりともに育み未来をつくる 健康経営都市を将来の都市像として掲げる岩見沢市において、住みよく快適で活気に溢れた緑豊かな「岩見沢」を、将来を担う世代に引き継ぐことは、私たちに課せられた責務です。少子化対策や人口減少社会への適応、DX(デジタルトランスフォー

新しい時代を見据えて

社会が目まぐるしいスピードで変化中、次の10年を見据えた新たな行政改革大綱、中長期財政計画、職員定員管理計画を策定しました。引き続き、市民の皆さまとの信頼を市政運営の基本として、市役所改革は次のステージへと移行します。市政を取り巻く環境が厳しさを増す中、今後も質の高い市民サービスを維持し、レベルアップを図っていくためには、徹底したコストダウンに加えて、未来技術の積極的な活用と職員のスキルアップを前提とした経営資源の効率的な再配分が絶対条件となります。新しい時代を見据え、これからも徹底した現場主義のもと、私自身が先頭に立って、全力で市役所改革に取り組みます。

重点分野の取り組みの

防災・防犯・地域コミュニティ

地域で支え合う 安全・安心なまち

災害に備えた対策 **拡充**

防災対策事業 3,158 万円

防災訓練や出前講座、自主防災組織への支援を通して地域防災による防災・減災を推進するほか、災害時における速やかな情報発信を行い、避難所生活や被災者の速やかな生活再建に向けた取り組みを進めます。



冬の暮らしの安全・安心の確保

除排雪事業、高齢者・障がい者の冬の暮らし支援事業 17 億 3,996 万円

道路除排雪に加え、町会・自治会などが行う除雪ボランティアへの支援、高齢者世帯などの雪下ろしや間口除雪、定期排雪の費用の助成など、冬の暮らしの安全・安心の確保を図ります。



健康・福祉・医療

みんなが健康で元気に暮らせるまち

いつまでも健康で暮らせるように **拡充**

健康寿命延伸事業 7,299 万円

個人の健康づくりの活動にポイントを付与する「健康ポイントアプリ」の導入のほか、各種健康診査や健康教室、健康相談などを実施し、いつまでも健康で生きがいを持って暮らせるよう健康寿命の延伸に取り組みます。



障がいへの理解促進と差別の解消へ **拡充**

共生のまちづくり推進事業 1 億 5,890 万円

バリアフリーの推進やアール・ブリュット⁺作品の鑑賞機会の提供などを通じ、社会参加しやすい環境の整備と障がいへの理解促進、差別の解消などを図ります。



産業経済・交流

活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち

持続可能な農業の推進

新規就農・農業後継者育成支援事業 5,505 万円

新規就農に必要な農業知識や技術を習得する研修などのほか、経営の早期安定を支援することで、担い手の育成・確保を図り、基幹産業である農業の維持・発展に取り組みます。



地域資源を用いた新たなエネルギーの創出 **拡充**

地域イノベーション推進事業 2,151 万円

産学官連携のもと、温泉附随ガスや自然エネルギーなどを用いた「地産地消型エネルギーシステム」の実証など、新たな社会環境形成に取り組みます。



一部を紹介します

子ども・子育て・教育・文化

豊かな心と生きる力をはぐくむまち

子育てしやすいまちづくりの推進 **新規・拡充**

子どもの医療助成事業、出産・子育て応援事業 2 億 1,318 万円

子どもの医療費助成の対象を「高校生等まで」に拡充するほか、すべての妊婦・子育て世帯への伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施するなど、安心して子育てができるまちづくりを推進します。



学生と市民の交流機会の拡大 **新規**

教育大学連携事業、開庁 140 年・市制施行 80 周年記念事業 1,216 万円

「北海道教育大学岩見沢校 BOX (i-BOX)」[◇]の運営をはじめ、美術展などへの協力や地域活動への学生参加を通じ、大学と市民との交流を推進します。また、開庁 140 年・市制施行 80 周年記念式典に併せて、大学との連携によるイベントを市内各所で開催します。

都市基盤・環境

自然と調和した 快適で暮らしやすいまち

カーボンニュートラル^{*}に向けた取り組み **拡充**

環境対策事業 1,140 万円

2050 年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指し、太陽光発電の促進など、地球温暖化防止実行計画（区域施策編）に基づき、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めます。



安全で安心して楽しめる公園づくり **拡充**

公園造成事業 1 億 7,942 万円

いわみざわ公園の散策路や展望広場の拡充、利根別自然公園とを結ぶ散策路を新設するほか、計画的に公園の施設を更新するなど、子どもから高齢者まで集い、楽しめる公園づくりを進めます。



市民参画・行財政運営

市民とともに創る 持続可能で自立したまち

タイムリーで効果的な情報発信

広報活動事業 7,192 万円

広報いわみざわや地デジ広報、デジタルサイネージ、コミュニティ FM、街頭放送、ホームページ、SNS など、発信する情報に適した手段で、効果的に情報を届けます。



効率的・効果的な行政サービスの提供 **拡充**

窓口スマート化推進事業、スマート・デジタル自治体推進事業 2,146 万円

行政手続きや窓口対応のスマート化[◆]による行政サービスの高度化など、市民サービスの向上や業務環境の改善・効率化を推進します。



市は、人と緑とまちがつながり、ともに育み未来をつくる健康経営都市の実現に向けて、重点分野として定めた 6 項目を柱に、総合計画や総合戦略などに基づく施策を着実に推進し、持続可能で自立した地域経営の確立を目指して取り組みを進めます。



詳しい内容は市ホームページ、市議会公式 YouTube をご覧ください

市議会の様子



YouTube で

市政方針



ID:3439

重点分野の取り組み



ID:3434

市ホームページで

33 事業で 6 億 7 千 964 万円を計上しました。厳しい財政環境の中、財政調整基金から 9 億 8 千万円を繰り入れ、持続可能で自立した行財政基盤の確立に十分留意し、必要な施策全般にバランス良く予算を配分しました。

令和 5 年度の予算は、選択と集中の視点に立ち、必要な事務事業の新設、既存事業の再構築を行い、事業間の相乗効果による好循環の拡大を図るとともに、子ども・子育て支援をはじめとした、地域の未来に資する事業に重点的に配分しました。その結果、一般会計の総額は 466 億円、前年度比 3.7% の減、特別会計と企業会計を合わせた全会計の総額は 890 億 5 千 300 万円、前年度比 1.6% の減となりました。また、総合戦略に関する予算は、

用語解説

- ❖アール・ブリュット 美術教育を受けていない人などが、既成の表現法にとらわれず自由に制作した生の芸術作品
- ❖カーボンニュートラル 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること
- ❖北海道教育大学岩見沢校 BOX (i-BOX) 北海道教育大学岩見沢校と岩見沢市が連携して、有明交流プラザ内に開設した、市民と学生の芸術文化・スポーツの活動情報拠点
- ❖スマート化 情報システムや各種装置に高度な情報処理能力や管理・制御能力を持たせること